

【“放課後の今”をリアルに伝える、日本で唯一のメールマガジン】



# NEWS LETTER

20.05.13発行

## Vol.2 長引く休校で、子ども親も大きなストレスを抱えています。今こそできるご支援を！

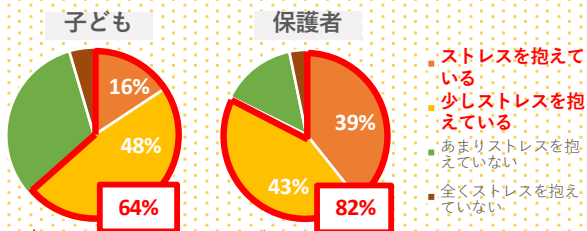
新型コロナウイルス感染症終息の兆しが見えない中、子どもたちは社会とのつながりや遊び、学びの機会を失い、ストレスを蓄積し続けています。どうしたらこの非日常の中で子どもたちの笑顔を守れるのか。子どもや保護者、そして子どもを守る学童保育現場が「いま」求めていることをまとめました。

### 01 >> 6割以上の子どもがストレスを抱え、社会との「つながり」を切望！

小学生のお子さんを持つ保護者の方に、緊急アンケートを実施しました。結果の一部をこちらにご紹介します。  
(実施期間：2020年4月27日～30日 回答数：438件 調査方法：インターネットでのアンケート調査)

**64%の子どもが“ストレス”を抱えている**  
保護者にいたっては**82%**という高数値！

問：休校期間中、お子さん・保護者の方はストレスを抱えていらっしゃいますか？



「友達や先生と会いたい」  
「友達と遊ぶ時間が減ってしまい寂しい」

「在宅での仕事・子どもの見守りや学習のサポートのいずれもが中途半端になってしまう」  
「学校なしで、学習環境を整えることが難しい」

子どもたちには、“コミュニケーションによって気づきや学びを得る機会”が必要

問：自宅で過ごす子どもにとって、何があればさらに有意義に過ごせるとお考えですか？

答：友達とコミュニケーションのとれる機会…**82%**  
オンラインによる学習…**63%**

外の人と接する機会…**39%**  
オンラインでの習い事…**30%**

「子どもたちが、社会との繋がりが絶たれている時間が長くなってきたことが不安」  
「勉強が遅れてしまうのではないかと不安」

アンケートの詳細結果はこちらからもご確認いただけます。ぜひご覧ください。

<https://npoafterschool.org/archives/blog/2020/05/28475/>



### 02 >> 手探りの1ヵ月。25回にわたり各地の子どもにオンラインプログラムを提供！



(左) 多拠点と繋いでのオンラインプログラム たくさんの人の顔が見えます  
(中) 開室しているアフタースクールにてプログラムを受ける子どもたち  
(右) カメラの向こうにいる子どもたちに向かってクイズを出すスタッフ

アンケート回答にもあったように、多くの保護者が、子どもたちにオンラインでもできる学びや友達とのつながりを求めています。そこで私たちは、企業様、講師の方（「市民先生」と呼んでいます）と協働でオンラインプログラムを開発し、全国の学童保育へ届けています。学習機会が制限される中、今だからこそできる形で、友達ともコミュニケーションが取れるプログラムを発信し、子どもたちに豊かな遊びや学びの機会を届けていきます。

## 有名企業や一流講師と続々コラボ！オンラインプログラムの模様をレポート



### ■「メルカリ先生からの挑戦状」 with 株式会社メルカリ



一見「不要」に見えるものも、「必要」としている人がいる！実際にメルカリで売買されたものを例に、クイズなどを通して「ものとお金の大切さ」や「循環型社会」について学習します。感染症対策も行いながら、オンラインでも飽きずに取り組めるよう工夫しています。

ペットボトルのふたって誰かの役に立つかな？



この輪ゴム売れるかな？



### ■「グラフィックレコーディング」 by 日高由美子先生

子どもたちがテーマに沿って自由に会話し、その様子を講師がリアルタイムで絵に表現していきます。距離を感じさせない会話が繰り広げられ、それらが作品にまとめられたとき、「離れていても一つのことを完成させられる」ことが、子どもたちに大きな発見となりました。

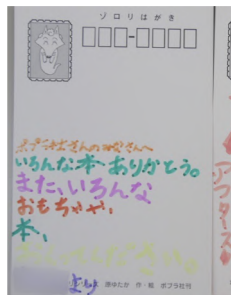
歴史好きな子っている？



上杉謙信が好きだよ！！

コロナ禍では学童保育や自宅にいる子どもたちを支援するために行われているオンラインプログラム。今後は遠方地域への教育支援や、学童保育同士をつなぐ横断的なプログラムなど、ますますの発展が期待されます。  
**少しでも興味を持っていただいた方は、ぜひお問い合わせください！**

## 03 >> 重ねてお伝えします！現場からたくさんの「ありがとう」



前号に続き、現在も様々な企業様からご寄付・ご寄贈をいただき、全国の苦境に立つ子どもたちや学童保育運営者のもとへその一部をお届けしています。人件費・設備費等の負担も増えている中、皆様のご支援が大変心強い力となっています。

(左)「おやつゲット！！」と笑顔の眩しい子どもたち

(右) 本をいただいたことに対する、子どもからのお礼のお手紙

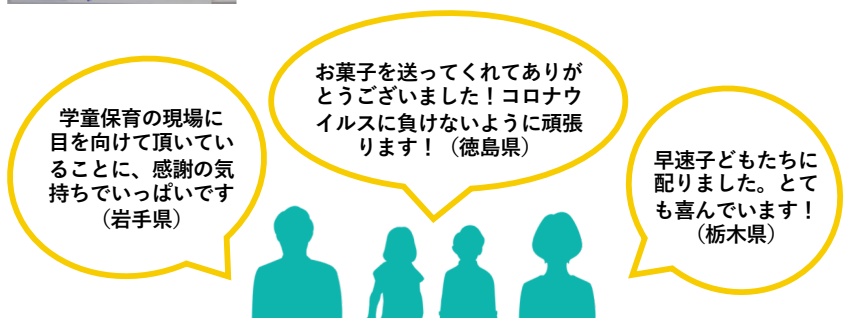
### ご支援の一例

- ・マスク
- ・消毒液
- ・本 / 絵本
- ・ボードゲーム
- ・運動用品
- ・お菓子
- ・飲料
- ・レトルト食品
- ・文房具
- ・工作用材料 など

#### 【提供いただいた企業様】

ソニーグループ、カゴメ株式会社、亀田製菓株式会社、株式会社やおきん、株式会社ポプラ社、ステッドラー日本株式会社 等  
(敬称略・順不同)

物資だけではなく、運営資金のための寄付金も多数の企業様から頂戴しております。  
これからも、全国の仲間へも支援の輪を広げてまいります。



「学校に通う」という当たり前の環境が当たり前ではなくなって、はや2ヶ月半。長い一日を「家」で過ごす子どもたち、「学童保育」で過ごす子どもたち、皆ストレスを抱えながらも、制限された状況下で一生懸命工夫しながら日々を過ごしています。子どもたちの笑顔を途切れさせないために、今だからこそできるご支援を、お願いいたします。

